

みんなで考える これからの公共施設と公共サービス

1. はじめに
2. 公共施設と公共サービス
3. 市民参加と協働
4. 事例研究
5. おわりに

杉岡 秀紀

福知山公立大学地域経営学部准教授

大阪市立大学大学院都市経営研究科非常勤講師

1. はじめに

【自己紹介】

2003年 同志社大学経済学部卒業

2003年 まちづくりNPOきゅうたなべ倶楽部 主宰(代表)

2007年 同大学院総合政策科学研究科 博士前期課程修了

2007年 内閣官房行政改革推進本部事務局 参事官付

2009年 一般財団法人地域公共人材開発機構 事務局総括

同志社大学政策学部 嘱託講師

2012年 京都府立大学公共政策学部 講師

同 地域連携センター 副センター長

2016年 福知山公立大学地域経営学部 准教授

同 北近畿地域連携センター長 (2018年～現在は北近畿地域連携機構市民学習部長)

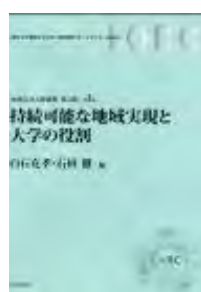
2017年 総務省主権者教育アドバイザー (兼務)

2019年 厚生労働省地域雇用活性化支援アドバイザー (兼務)

2020年 大阪市立大学大学院都市経営研究科非常勤講師 (兼務)

【主な著書】

- ・『地域力再生の政策学』(共著／ミネルヴァ書房／2010年)
- ・『地域貢献としての大学シンクタンク』(編著／公人の友社／2013年)
- ・『地域公共人材をつくる』(共著／法律文化社／2013年)
- ・『地方自治を問いなおす』(共著／法律文化社／2014年)
- ・『もう一つの自治体行革』(編著／公人の友社／2014年)
- ・『持続可能な地域実現と大学の役割』(共著／日本評論社／2014年)
- ・『地域力再生とプロボノ』(編著／公人の友社／2015年)
- ・『地域創生の最前線』(編著／公人の友社／2016年)
- ・『自治体政策への提言』(共著／北樹出版／2016年)
- ・『「みんな」でつくる地域の未来』(共著／公人の友社／2017年)
- ・『合併しなかった自治体の実際』(編著／公人の友社／2017年)
- ・『現場から見た「子どもの貧困」対策』(共著／公人の友社／2018年)
- ・『NPO最善線』(共著／京都新聞出版／2018年)
- ・『自治・分権と地域行政』(共著／芦書房／2020年)
- ・『これからの話し合いを考えよう』(共著／ひつじ書房／2020年)



【主な地域づくり関係の仕事（兵庫県）】

- ・ジオパーク推進協議会地域産業部会（2016～）
- ・開学記念連続企画シンポジウム（篠山市・養父市・朝来市・丹波市・豊岡市）（2017）
- ・北近畿地域連携シンポジウム（養父市・朝来市・豊岡市）（2018）
- ・北近畿創生フューチャーセッション（豊岡市・養父市）（2019）
- ・丹波市議会・篠山市議会研修（2017）
- ・グローバル特講義（丹波篠山市・養父市・朝来市・丹波市・豊岡市）（2018～）
- ・芦屋市議会研修（2018）
- ・丹波市議会（柏原高校・氷上高校・氷上西）ミライプロジェクト（2018～）
- ・兵庫県自治研修所中堅職員研修（2018～）
- ・山東区長会講演会（2018）
- ・梁瀬地域自治協議会講演会（2018）
- ・丹波市選挙管理委員会勉強会（2019）
- ・兵庫県立生野高校地域との協働による高等学校教育改革推進事業運営指導委員会副委員長（2019～）
- ・兵庫県立柏原高校 同上（2019～）
- ・神戸市企画調整局指定管理者選定評価委員会委員（2020～）
- ・（特活）丹波ひとまち支援機構理事（2020～）
- ・丹波市外部評価委員会委員長（2020～）
- ・丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略推進委員会委員長（2021～）
- ・神戸市地域活動の場づくりに関するワーキンググループ委員（2021～）

【高校との繋がり】

- ・ 総務省主権者教育アドバイザー
- ・ 「全国高校生マイプロジェクトアワードin北近畿」審査員(委員長)
- ・ 近大附属付属豊岡高校との産学公金PBL
- ・ 第1回但馬地区高校生フォーラム(コーディネーター)ほか
- ・ 兵庫県立生野高校「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」運営指導委員会委員(副委員長)・特別非常勤講師
- ・ 兵庫県立柏原高校 同上 運営指導委員会委員(副委員長)・特別非常勤講師
- ・ 高大議連携事業(柏原高校・氷上高校・氷上西高校)@兵庫県丹波市
- ・ 大学コンソーシアム京都高大連携推進室員
- ・ 京都府教育委員会WWLコンソーシアム運営委員
- ・ 京都府立鳥羽高校SGH「イノベーション探求」講師・成果報告会コメンテーター
- ・ 京都府立福知山高校学校運営協議会会長、「みらい学(総探)」ゲスト講師、成果報告会コメンテーター
- ・ 京都府立宮津天橋高校学校運営協議会委員、総探成果報告会コメンテーター
- ・ 京都府立峰山高校「いさなご探求(総探)」成果報告会コメンテーター
- ・ 岡山県立林野高校地域連携協議会委員 ほか多数

地域を変える。
日本が変わる。
世界は変わる。

change

WEB OPEN CAMPUS 2020 開催中! [→](#)

オンライン個別相談 受付中! (進路専用) [→](#)

not be load
ver or netw
hat is not supported.

Q11

全国から学生が集まってるとって本当ですか？

福知山公立大学の特長の一つは、全国から学生が志願・入学していること。キャンパスには各地の方言が飛び交い、文化が入り混じっています。

都道府県別出身者数 (2021年度)
 205名…入学者数 614名…志願者数



日経グローバル「大学の地域貢献度全国ランキング2021」で本学が公立大学で12位となりました

レポート

2021.10.18

2021年10月4日発行の『日経グローバル』421号の特集「大学の地域貢献度調査」で、本学は総合で90位、公立大学で12位となりました。

このランキングは、日本経済新聞社が全国761の国公立大学を対象に調査を行い（514大学が回答）、大学が地域社会にどのような貢献をしているのかを「地域貢献度」として点数化して順位づけしたものです。本学は特に、地域貢献に向けた組織や制度が整備されている点が評価されました。

回答：514大学

総合順位 90位（京都府で5位）

公立大学 12位（近畿で5位）

【掲載紙】

『日経グローバル』2021年10月4日（月）421号

『日経グローバル』421号の特集「大学の地域貢献度調査」の続報で、本学は「総学生数2,000人未満の大学の総合ランキングベスト30」で8位となりました。

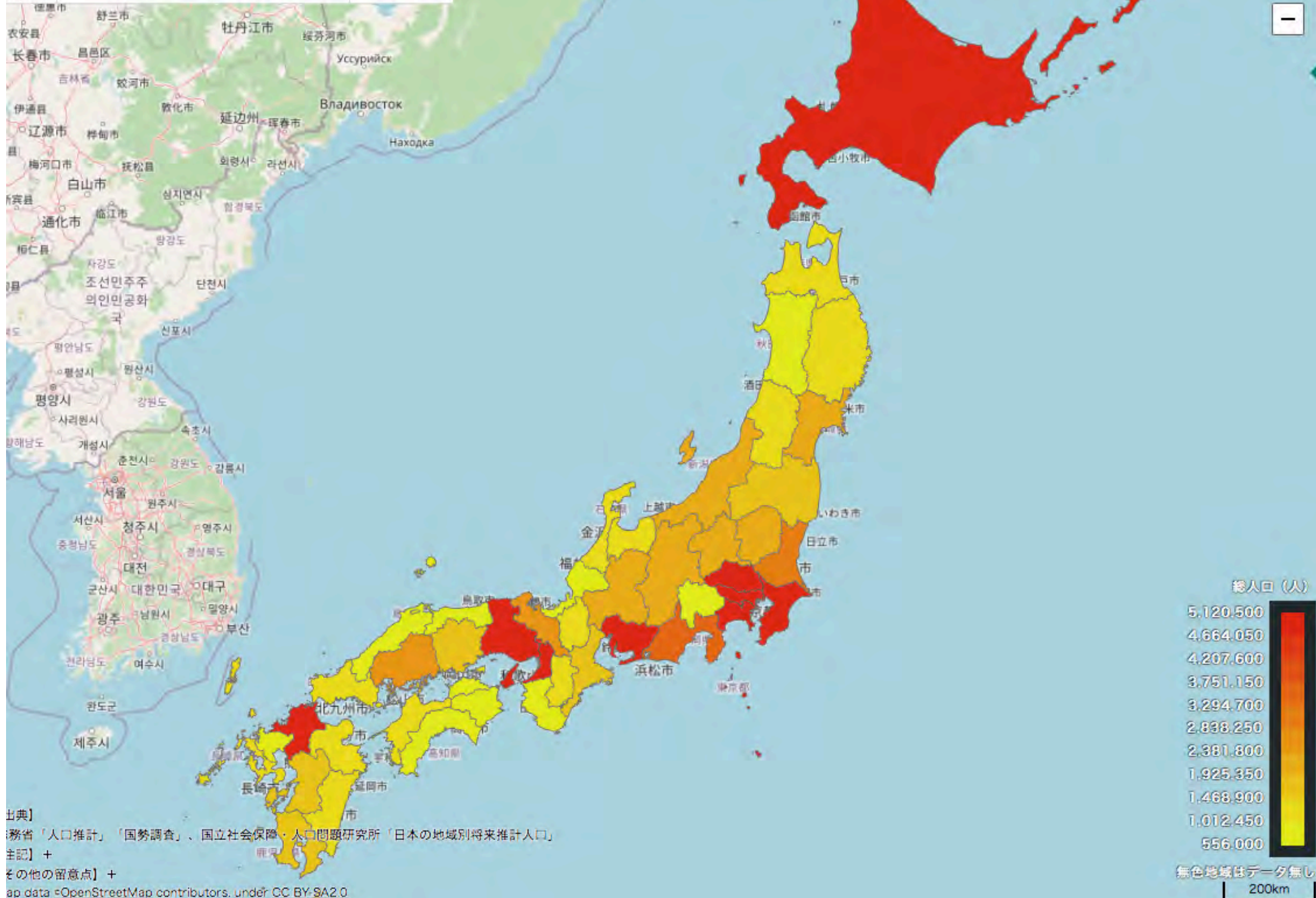
【掲載紙】

『日経グローバル』2021年10月18日（月）422号

2. 公共施設と公共サービス

人口

施設名または住所を入力してください 保存一覧



出典] 務省「人口推計」「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 主記] +
 その他の留意点] +
 ap data ©OpenStreetMap contributors, under CC BY-SA 2.0

2. 公共施設と公共サービス

【兵庫県の消滅可能性都市リスト】

神戸市須磨区51.4、洲本市58.5、相生市55.4、三木市56.2、加西市54.7、篠山市58.7、養父市58.3、丹波市50.4、南あわじ市53.6、朝来市63.5、淡路市58.7、宍粟市55.0、多可町58.9、稲美町53.7、市川町54.7、福崎町51.3、神河町61.7、上郡町65.1、佐用町68.2、香美町63.0、新温泉町70.0

↓

県内の自治体の約半分(21/41)がノミネート¹¹

2. 公共施設と公共サービス

【兵庫県北部の人口（2020（R1）年国勢調査）】

- ・ 豊岡市：77,519人（前回調査比▲4,731人）
 - ・ 丹波篠山市：39,637人（前回調査比▲1,853人）
 - ・ 養父市：22,137人（前回調査比▲2,151人）
 - ・ 丹波市：61,511人（前回調査比▲3,149人）
 - ・ 朝来市：29,002人（前回調査比▲1,803人）
 - ・ 香美町：16,069人（前回調査比▲2,001人）
 - ・ 新温泉町：13,328人（前回調査比▲1,491人）
- ⇒ 25,9203人（前回調査比▲17,179人）

2. 公共施設と公共サービス

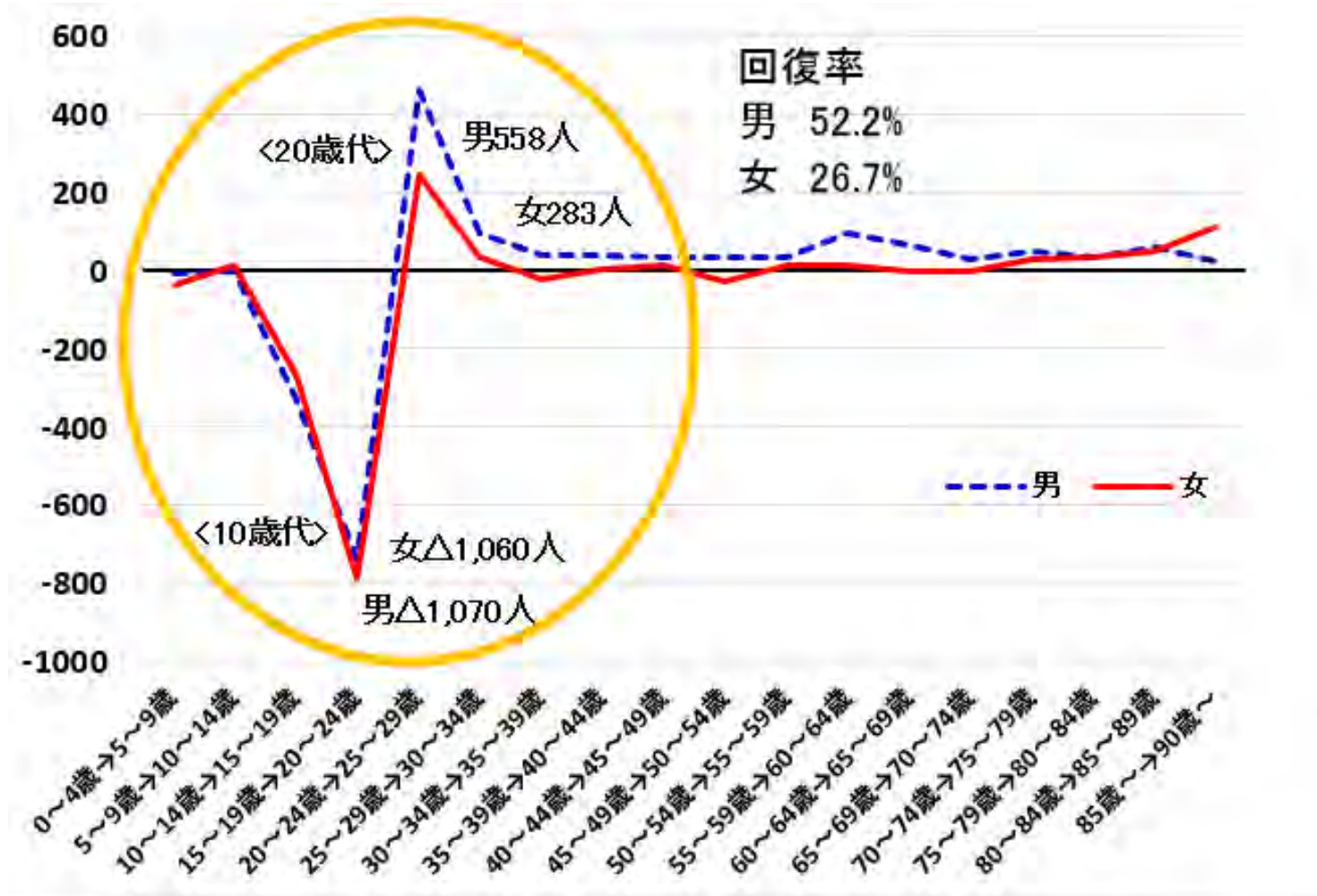
(参考) 京都府北部の人口 (2020 (R1) 年国勢調査)

- ・舞鶴市: 80,383人 (前回調査比▲3,607人)
- ・福知山市: 77,349人 (前回調査比▲1,586人)
- ・京丹後市: 50,867人 (前回調査比▲4,187人)
- ・綾部市: 31,878人 (前回調査比▲1,943人)
- ・宮津市: 16,769人 (前回調査比▲1,657人)
- ・与謝野町: 20,107人 (前回調査比▲1727人)
- ・伊根町: 1,930人 (前回調査比▲180人)

⇒ 279,283人 (前回調査比▲14,883人)

※ H27国勢調査は計「294,170人」(前回調査比▲14,837人)であった

2. 公共施設と公共サービス



(出所)豊岡市(2021)「グローバル特講」講義資料

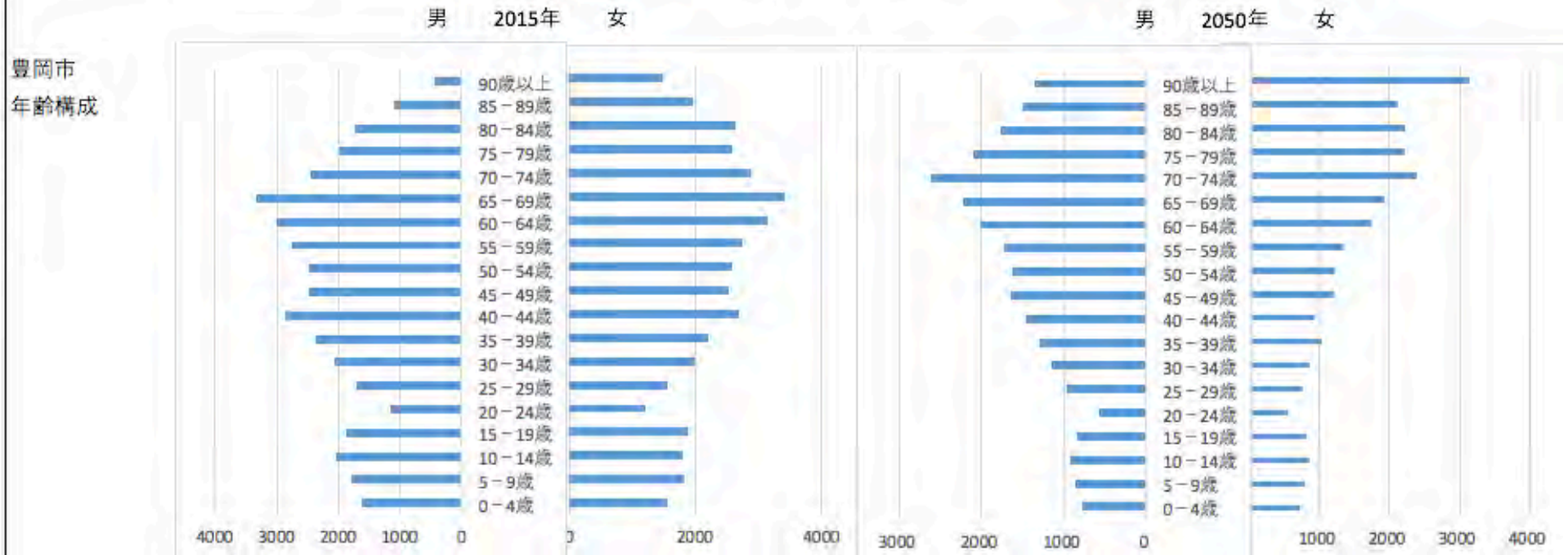
2. 公共施設と公共サービス

【豊岡市の未来カルテ2050】(出所) <https://opossum.jpn.org/>

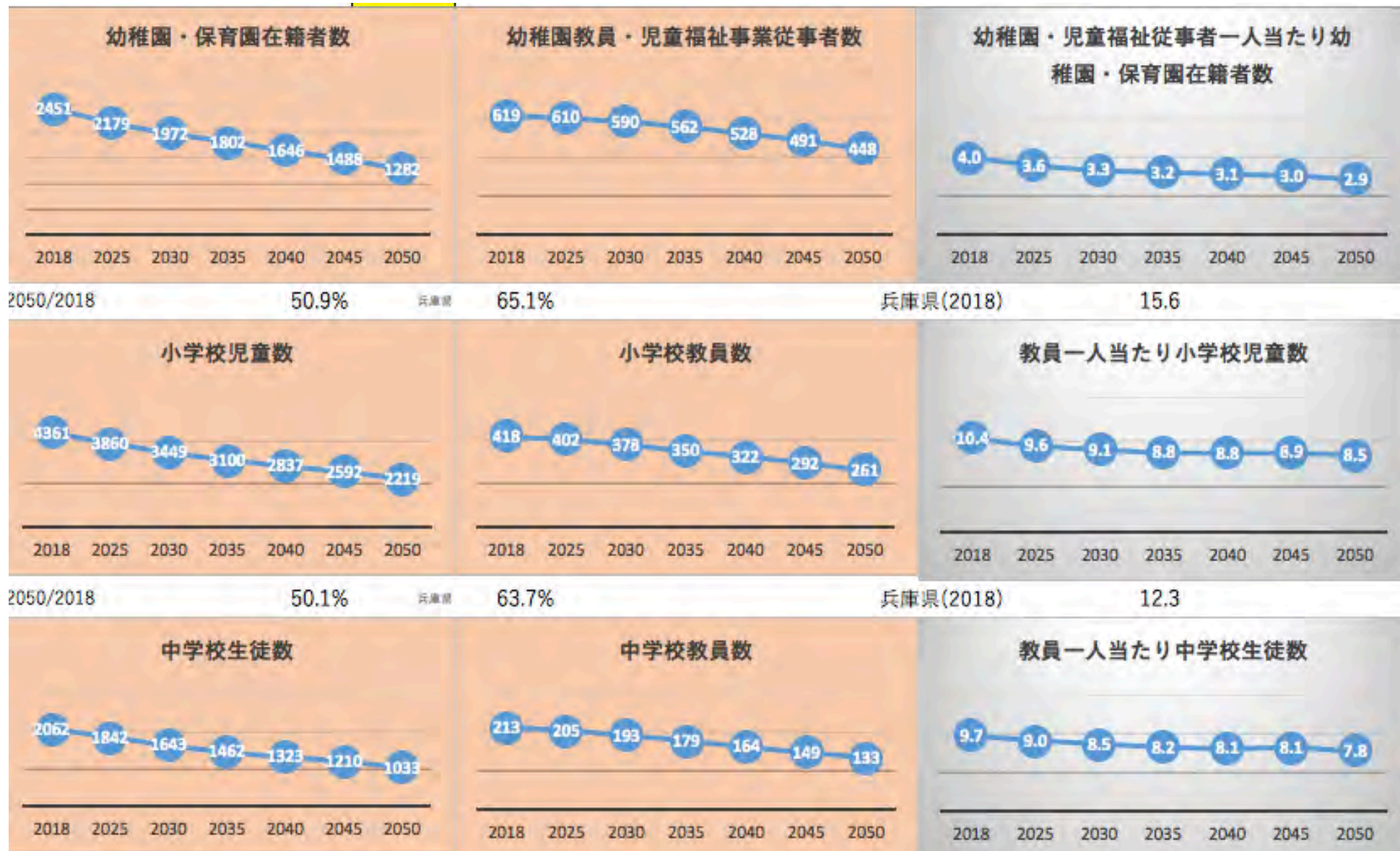
豊岡市	豊岡市			兵庫県			全国(万人)		
	2015年	2050年	2050/2015	2015年	2050年	2050/2015	2015年	2050年	2050/2015
総人口	82250	54387	66.1%	5534800	4362308	78.8%	12709	10300	81.0%
年少人口(0~14歳)比	12.9%	9.1%	46.6%	12.8%	10.0%	61.5%	12.6%	10.3%	66.4%
生産年齢人口(15~64歳)比	55.1%	43.8%	52.6%	59.3%	48.6%	64.7%	60.7%	50.9%	67.9%
65歳以上人口比	31.6%	47.1%	98.6%	26.8%	41.4%	121.9%	26.6%	38.8%	118.2%
75歳以上人口比	16.9%	30.2%	118.3%	12.6%	24.7%	155.3%	12.7%	13.7%	87.4%



人口・年齢構成

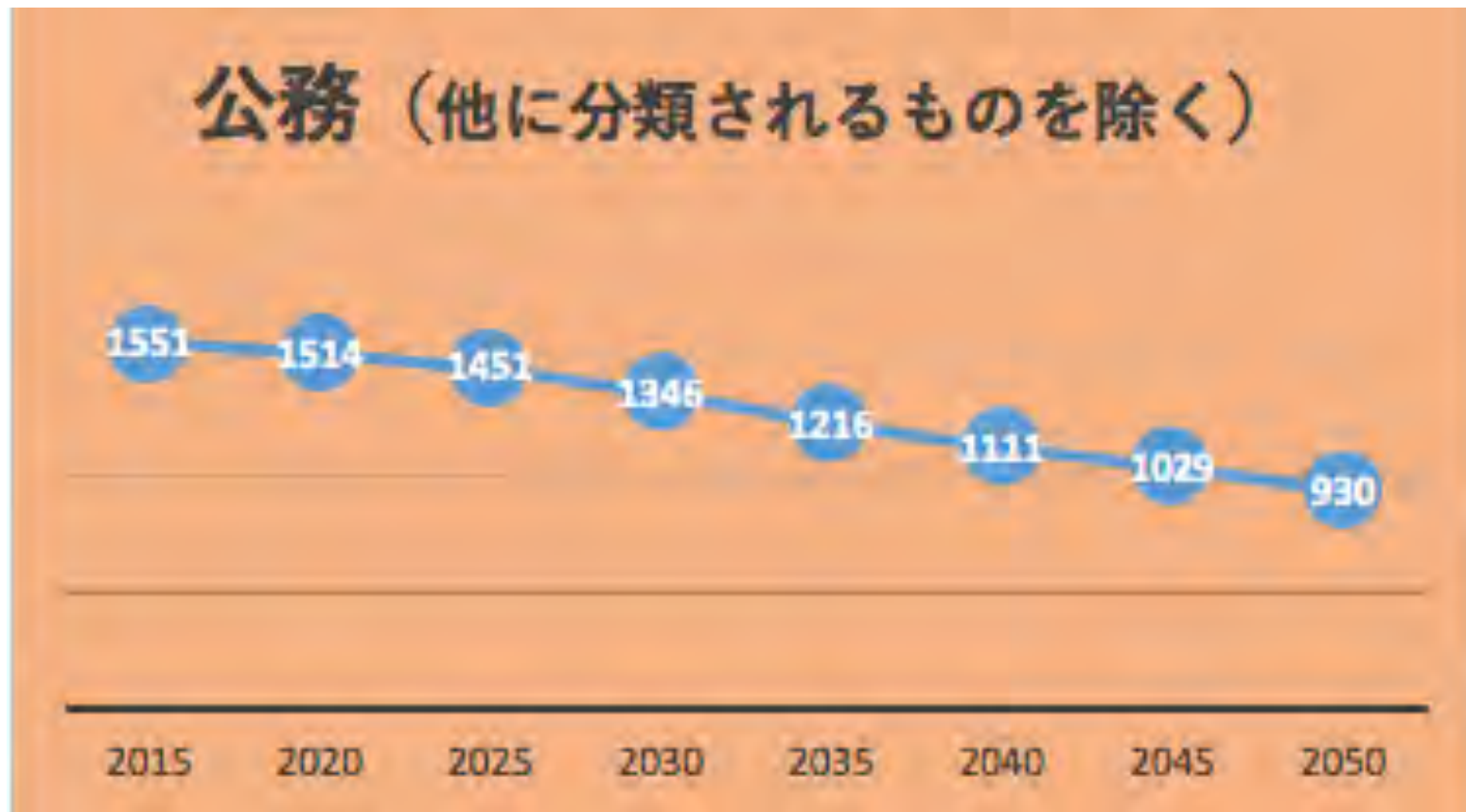


2. 公共施設と公共サービス



2. 公共施設と公共サービス

【豊岡市の未来カルテ2050】(出所) <https://opossum.jpn.org/>



2. 公共施設と公共サービス

【豊岡市の未来カルテ2050】(出所) <https://opossum.jp.org/>

2017	豊岡市	兵庫県	単位
道路維持管理費概算	18.3	600.6	億円/年
公有財産建物維持管理費概算	52.6	2450.7	億円/年
1人当たり道路面積	71.2	—	m ²
1人当たり公有財産建物床面積	5.9	—	m ²
1人当たり本庁舎床面積	0.41	—	m ²



公有財産建物維持管理費概算

30年で大規模改修を行い、60年で建て替えを行うものと考え、現存する公共施設の半分が今後大規模改修にかかり、半分が建て替えにかかると仮定する。この費用は起債の償還年数が30年間であることに鑑み、30年間に平準化されるものとする。この仮定の下に、延床面積を半分に割った値をさらに30で割り、それぞれに大規模改修の原単位25万円/m²と建て替えの原単位40万円/m²を乗じて足し合わせたものを、年間の維持・更新費とする。

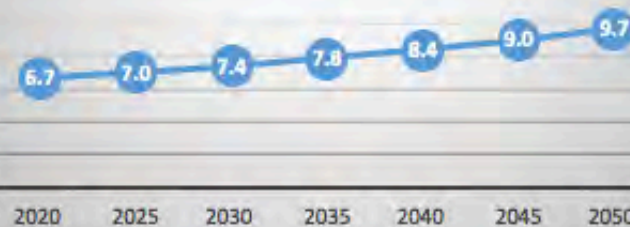
公有財産建物床面積 (1000m²) 実績



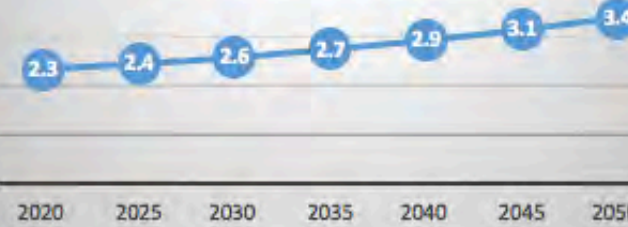
道路面積 (1000m²) 実績



人口一人当たり公有財産建物維持管理費



人口一人当たり道路維持費用

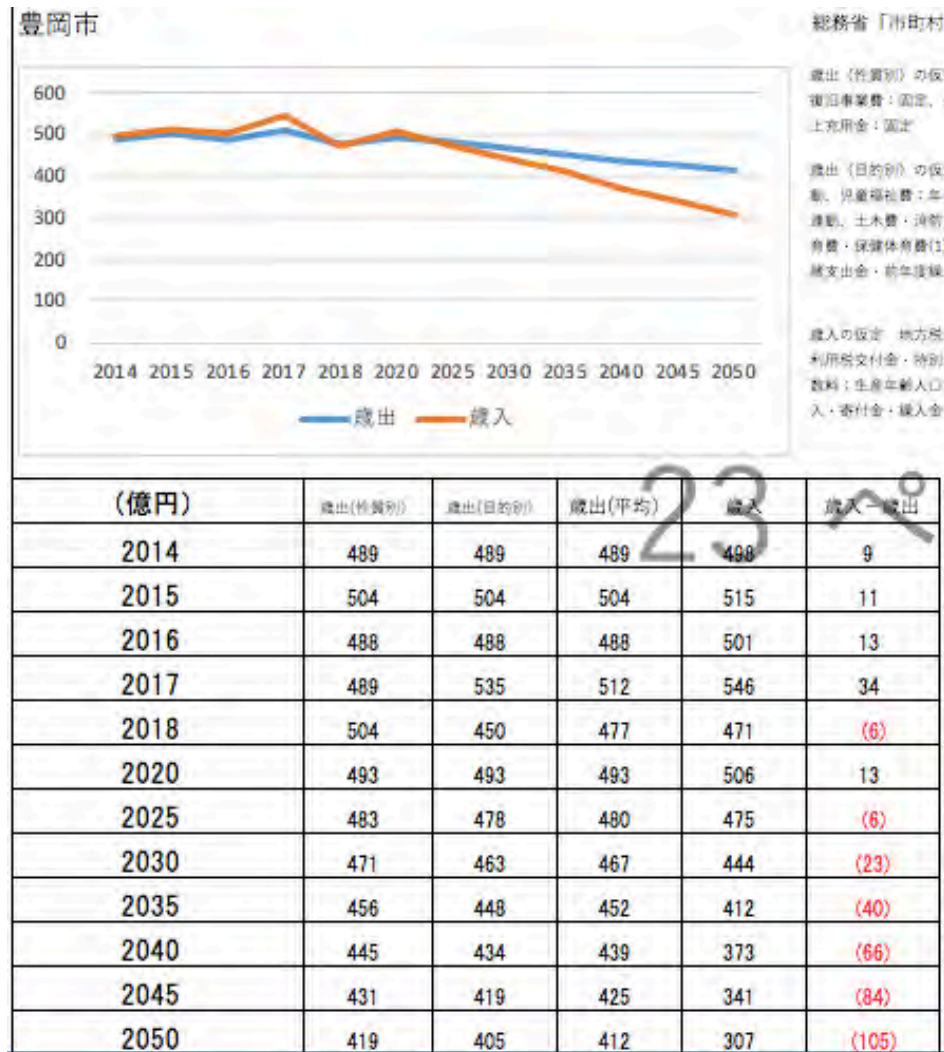


道路維持費用概算

15年で更新していくものと考え、道路面積を15で割った値に原単位 (4700円/m²) を乗じて年間の維持・更新費を算出した。

2. 公共施設と公共サービス

【豊岡市の未来カルテ2050】 (出所) <https://opossum.jp.org/>



2. 公共施設と公共サービス

連載

中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故

+ 連載をフォロー

有料会員限定



PR

2012年12月2日午前8時過ぎに、中日本高速道路会社が管理する中央自動車道上り線の笹子トンネルで天井板が100m以上にわたって崩落。走行中の車両などが巻き込まれ、火災が発生し、9人の死者を出した。

(出所) 「日経TECH」 <https://xtech.nikkei.com/kn/atcl/bldcolumn/15/00050/>

2. 公共施設と公共サービス



2. 公共施設と公共サービス

「閉める・終了する・たたむ」
＜「片付ける・納める・整理する」



単に施設を減らすことではなく、質の高い
公共サービスを提供できる状態にするこ
と・なることを目指した活動

(堤 2019:189頁)

2. 公共施設と公共サービス

Q.公共施設は誰のものか？

せせらぎ

公共施設は誰のものか。この問いに対する答えを悶々と考えている▼公共施設

をめぐっては、2012年の笹子トンネル天井板崩落事故以来、全国の自治体で公共施設白書や総合管理計画が策定されている。その理由は明白で、公共施設にも人間と同じく寿命があるからである。すなわち人口減少で利用者が減ることが分かっている中で、大前提として全ての施設を維持することはできない。さりとて、財政が厳しいからと放置もできない。したがって、行政の視点だけでなく、公共施設の利用者であり、まちのオーナーである住民の意見が求められる訳である▼この分野で先駆的な動きをしているのが、豊岡市と与謝野町が設置した「地域デザイン

会議」である。両市町とも平成の大合併を経験したまちで、重複する公共施設が多い。この維持には年間数十億円のコストが掛かり、全てを維持する財政的余裕はない▼そこで、構想したのが旧町単位ごとに公共施設のあり方について、対話を通して住民に問題意識を持ってもらう「地域デザイン会議」である。行政の役割は情報提供と会議の進行役。筆者含む大学教員も会議に伴走している▼もちろん結論はそう簡単には出ない。そもそも正解などない。だからこそ言わば「納得解」づくりのための回路が求められる。重要なのは公共施設の数減らしつつも、いかにそこで提供される「公共サービス」を維持・発展させられるかという視点ではないだろうか。(杉岡)

2. 公共施設と公共サービス

「公共施設の整備にお金を出しているのは基本的に住民であり、(中略)公共施設は住民が所有していると考えても良いのでは」
(堤 2019:29頁)



「住民の意識」(前掲 36頁)
「つくるくつかう」(前掲 37頁)

2. 公共施設と公共サービス

Q. 公共施設は何のため？

2. 公共施設と公共サービス

「本当に必要なのか検討すべき対象は、
公共施設ではなく公共サービス」
(堤 2019:51頁)

「自治体の仕事は公共サービスの提供であって、必ずしも公共施設の提供ではありません」(前掲 54頁)

2. 公共施設と公共サービス

【ミッション】

「住民福祉の増進」
(地方自治法第1条)

2. 公共施設と公共サービス

【福祉とは】

福 = 幸福 (ハッピーネス)
祉 = 幸福 (ハッピーネス)

※よりよい日常生活
(堤 2019:48頁)

2. 公共施設と公共サービス

Capitalism literally means "accumulation of wealth".

On a finite planet, with finite resources, where do you think it can accumulate to some, if not from all the others?!



Equality



Justice



Capitalism

2. 公共施設と公共サービス

【行政の役割】

- ・住民（議会含む）の代理人
- ・権力
- ・情報



「公」を開くためのプラットフォームや
仕組み・仕掛けづくり

2. 公共施設と公共サービス

【住民の役割】

- ・行政サービスの受け手
- ・公共サービスの担い手
- ・協働のパートナー



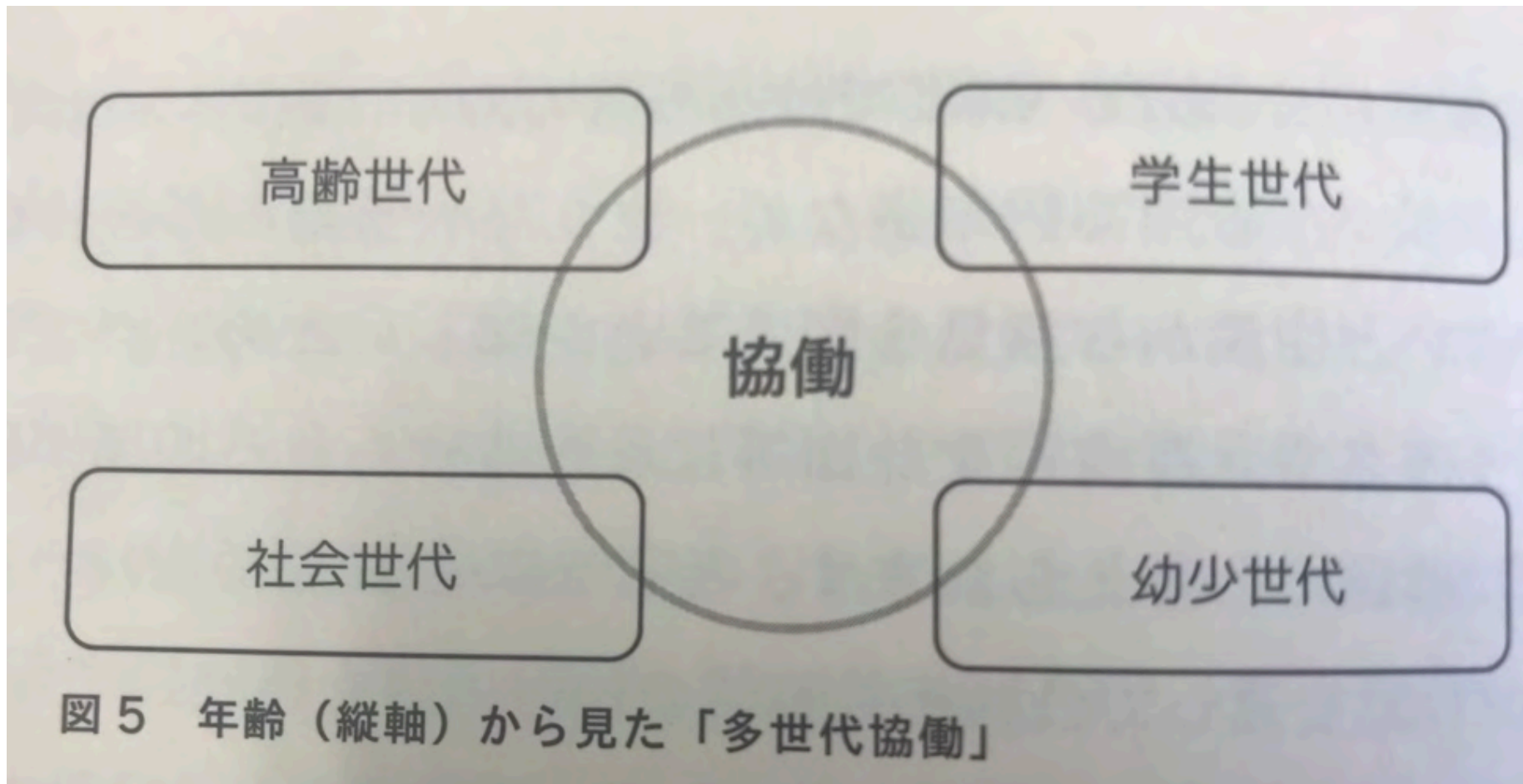
住民が主役、住民が主人公

3. 市民参加と協働

「最大のポイントは
「多世代」を意識すること」
(堤 2019:39頁)

「世代を超えるという意味で
「多世代協働」をとらえる」
(前掲:41頁)

3. 市民参加と協働



(出所) 堤洋樹『公共施設のしまいかた』(学芸出版社、2019)

3. 市民参加と協働

【市民参加の例】

- ①市民意識調査(アンケート)
- ②各種団体へのヒアリング調査
- ③市(町村)政モニター
- ④手紙・FAX・Eメールなどによる意見・アイデア募集
- ⑤公聴会・住民説明会
- ⑥シンポジウム・フォーラム
- ⑦地域別懇談会
- ⑧パブリック・コメント
- ⑨ワークショップ
- ⑩審議会
- ⑪市民会議
- ⑫その他(電子会議室など)

3. 市民参加と協働

【アーンスタインによる市民参加の8階梯】

8階	Citizen control (自主管理)	}	Degree of citizen power (市民権力の段階)
7階	Delegated Power (権限委譲)		
6階	Partnership (パートナーシップ)		
5階	Placation (宥和)	}	Degree of <u>tokenizm</u> (形式的参加の段階)
4階	Consultation (相談)		
3階	Informing (情報提供)		
2階	Therapy (不満をそらす操作)	}	Nonparticipation (非参加)
1階	Manipulation (あやつり)		

3. 市民参加と協働

【協働とは】

- ・ 米国の行政学者ヴィンセント・オストロムが1977年に著した“Comparing Urban Delivery Systems”の中で、「**地域住民と自治体職員とが共同して自治体政府の役割果たすこと**」という意味で**Co-production**として提唱したのがルーツ。最近では**Collaboration、Partnership**と訳されることも多い。
- ・ 日本では、荒木昭次郎が1990年の著書『参加と協働』の中で「**地域住民と自治体職員とが心を合わせて、力合わせ助け合って、地域住民の福祉の向上に有用であると、自治体政府が住民の意思に基づいて判断した公共的性質を持つ財やサービスを生産し供給していく活動体系**」と紹介し、全国に浸透³⁷。

3. 市民参加と協働

【協働の定義】

住民・NPO・事業者・専門家・自治体職員・地方政治家などがネットワークを形成し、政策決定やその実施に影響力を行使するばかりでなく、その主体的な担い手になっていくこと

(新川達郎「新しい地域ガバナンス」『コミュニティ再生と地方自治体再編』ぎょうせい、2005)



地域コミュニティの重要性が益々高まり、
市民参加から地域協働(コミュニティ・ガバナンス)へ

3. 市民参加と協働

【協働が生まれた背景】

① 行政の政策形成能力の限界

cf) 社会課題の多様化・複雑化・高度化・グローバル化

② 財政赤字の拡大 cf) 夕張市

③ 受動型市民参加制度の限界 cf) 直接民主主義

④ 住民自治力の強化 cf) 地方分権、補完性の原理

⑤ 市民社会の成長 cf) 阪神淡路大震災、NPO法

(出所) 木原彬「NPOと行政の協働とは何か」『NPOと行政の協働の手引き』大阪ボランティア協会、

2003より加筆・修正

杉岡秀紀(福知山公立大学)

3. 市民参加と協働

【行政によくある「協働」の内容(方法)】

① 補助金

→行政が公益上の必要性有と判断。実施主体は「補助先」。

② 委 託

→本来行政が行うべき事務事業。実施主体は「行政」。

③ 指定管理者制度(行政処分)

→公の施設の管理を営利企業やNPOを指定し、包括代行させる(公民館、児童館、音楽ホール、図書館、福祉施設等)

④ 後援、協力、共催、実行委員会、環境整備など

3. 市民参加と協働

【新しい公共とは何か】

- × 「公共的活動」を行政が独占
- 「行政」「企業」「大学」「NPO」各セクターそれぞれが、公共的役割を認識し、相補って「新しい公共」を支える



“協働”こそが、新たな社会的連帯を産み出し、
豊かで活力のある社会を創造する手段

3. 市民参加と協働

【パートナーシップ（協働）の原則「横浜コード」】

- ① 対等の原則
- ② 自主性尊重の原則
- ③ 自立化の原則
- ④ 相互理解の原則
- ⑤ 目的の共有の原則
- ⑥ 公開の原則

4. 事例紹介

与謝野町

よさの地域デザイン会議設置の趣旨

年齢、性別、居住地区、肩書などが異なる多様な住民が参加して、**持続可能なまちづくりにおける公共サービスのあり方、それに必要な公共施設のあり方**について、対話により多彩なアイデアや提案を収集し、「公共施設再配置計画」の策定へつなげていくことなどを目的とした会議

よさの地域デザイン会議

スタート！

よさの地域デザイン会議
年齢、性別、居住地区、肩書などが異なる多様な住民が参加して、持続可能なまちづくりにおける公共サービスのあり方、それに必要な公共施設のあり方について、対話により多彩なアイデアや提案を収集し、「公共施設再配置計画」の策定へつなげていくことを主な目的とした会議です。



(出所)地域デザイン会議全体会(2022)

目指す方向性

公共施設の総数を減らしながら

公共サービスの質の維持・向上

会議運営の特徴

特徴1：専門家からの情報提供

専門家や行政から対話の基礎となる情報を提供してもらいます。基礎知識が無い方でも対話に公平に参加できます。

特徴2：少人数による対話・複数の結論

少人数で対話を行い、テーマごとにメンバーを変え、多彩なアイデアや提案を出し合いながら複数の結果が導き出されます。最終的には、いくつかの結果に整理できます。

特徴3：結果の公開

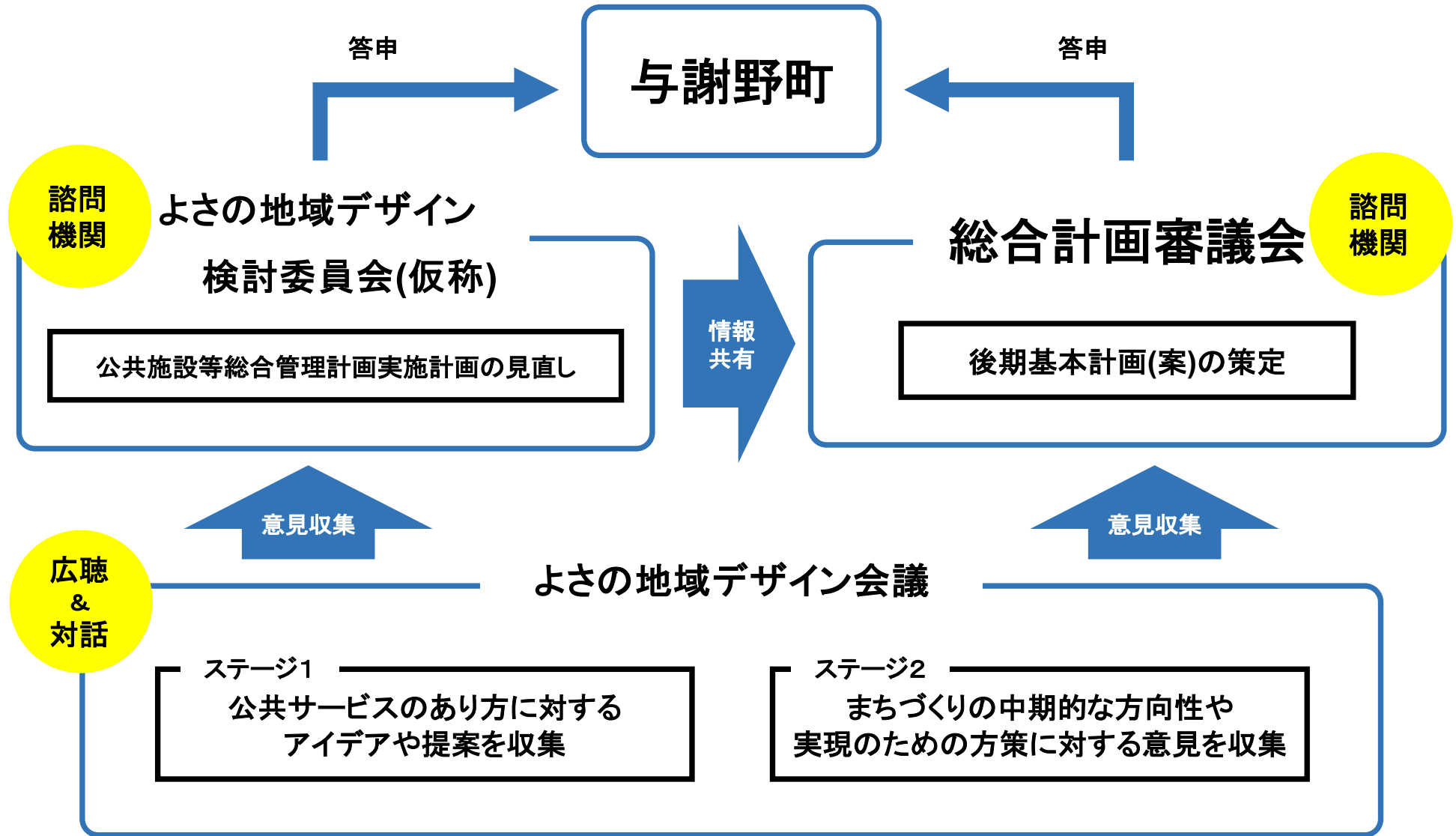
対話の結果を整理し広く公開すること
公正・公平・信憑性を確保します。



設置地域	ファシリテーター
加悦	京都産業大学現代社会学部 教授 滋野 浩毅 氏
岩滝	福知山公立大学地域経営学部 教授 谷口 知弘 氏
野田川	一般社団法人 地域問題研究所 理事長 (京都府立大学名誉教授) 青山 公三 氏
全体会	福知山公立大学地域経営学部 准教授 杉岡 秀紀 氏

(出所) 地域デザイン会議全体会(2022)

総合計画後期基本計画策定への住民参画(相関図)



よさの地域デザイン会議における視点

公共施設は公共サービスを提供するための一つの方法



【 よさの地域デザイン会議 】

公共サービスのあり方に視点を置いて、それに必要な公共施設のあり方を考える

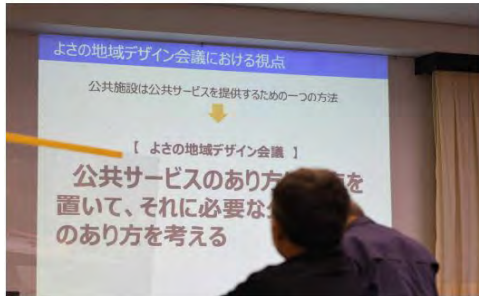
ターゲットは2045年

(出所)地域デザイン会議全体会(2022)

会議経過

8月22日（日） 13時30分～15時30分	キックオフミーティング（オンライン）	背景、目的、現状の共有
10月 8日（金） 19時～21時	第1回岩滝地域	公共サービスの利用圏域
10月 9日（土） 13時30分～15時30分	第1回野田川地域	
10月12日（火） 19時～21時	第1回加悦地域	
11月 1日（月） 19時～21時	第2回野田川地域	公共サービスの機能の組み合わせ
11月 2日（火） 19時～21時	第2回加悦地域	
11月 5日（金） 19時～21時	第2回岩滝地域	
11月21日（土） 13時30分～15時30分	中間全体会	各地域の進捗共有
12月 6日（月） 19時～21時	第3回野田川地域	地域や民間事業者による公共施設の新しい使い方
12月 8日（水） 19時～21時	第3回加悦地域	
12月10日（金） 19時～21時	第3回岩滝地域	
3月20日（日） 13時30分～15時	最終全体会（オンライン）	全体共有

（出所）地域デザイン会議全体会（2022）

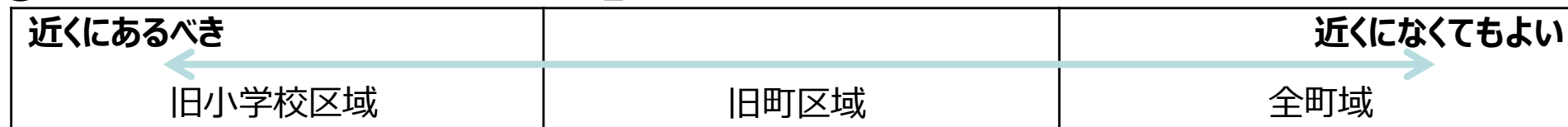


(出所)地域デザイン会議全体会(2022)



よさの地域デザイン会議の基本テーマ

① 公共サービスの「利用圏域」を考えよう



② 公共サービスの「集約」「複合」を考えよう

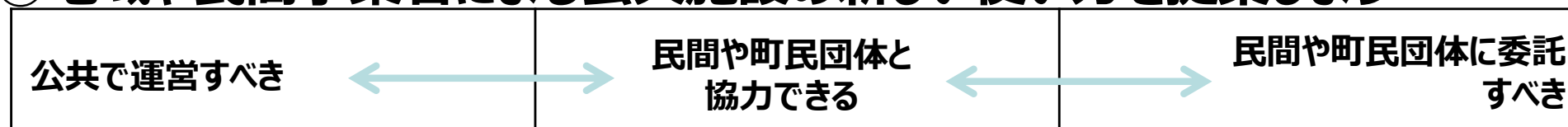


「全町単位あるいは近隣市町との連携で必要なサービス（施設）」のあり



まちの1つあったら良い公共サービス（施設）のあり方

③ 地域や民間事業者による公共施設の新しい使い方を提案しよう



※Decidim（デシディム）とは

Decidimは、「我々で決める」を意味するカタルーニャ語にちなんで、2016年にバルセロナ市で誕生した市民参加型合意形成プラットフォーム。世界各地で180以上の組織、32万ユーザーが活用し、160以上のプロジェクトが生まれており、日本においては、2020年10月の兵庫県加古川市への導入を皮切りに、国・自治体のプロジェクトをはじめ、民間の取り組みでも活用され始めています。自治体での導入は与謝野町で7例目となります。



2. プラットフォーム名称・URL

よさのみらいトーク

<https://yosano.makeour.city/>



3. 事業概要

よさのみらいトークは、与謝野町公式のSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）です。

与謝野町では、このサービスの運用を通して、時間や場所にとらわれず、与謝野町に住む人や出身者、応援してくれる人など、多様な住民のみなさんが、地域づくりやまちづくりについて、合意形成を図りながらオープンに議論できる環境づくりを進めていきます。

また、非公開スペースでの議論もできることから、地域団体や住民参画の審議会での活用、出身者によるコミュニティづくりといった活用も想定しています。

なお、よさのみらいトークはデジタルプラットフォームですが、デジタルが苦手な方にも配慮し、オンラインで完結することなく、オフラインでの議論も融合しながら議論を見える化して合意形成を図っていく運用をイメージしています。

4. 事業実績

(1) よさのみらいトーク活用ワークショップ

よさのみらいトークの操作体験や活用方法の検討を目的としたワークショップを下記のとおり開催中（開催予定含む）です。今後も継続的に実施していきます。

- ・2021年11月 町役場職員ワークショップ
- ・2022年1月 オンラインワークショップ（関係人口、住民等）
- ・2022年2月 高校生ワークショップ（加悦谷高校3年生）
- ・2022年3月 町民ワークショップ（参加者：自治会、地域団体、産業振興会議等）

(2) よさのみらいトークを活用したアイデア募集

与謝野町役場職員を対象にしたワークショップで「町の花・木の普及啓発・活用方法に関するアイデア募集」において活用する提案があり、アイデアの応募方法の一つとして、よさのみらいトークを活用しています。

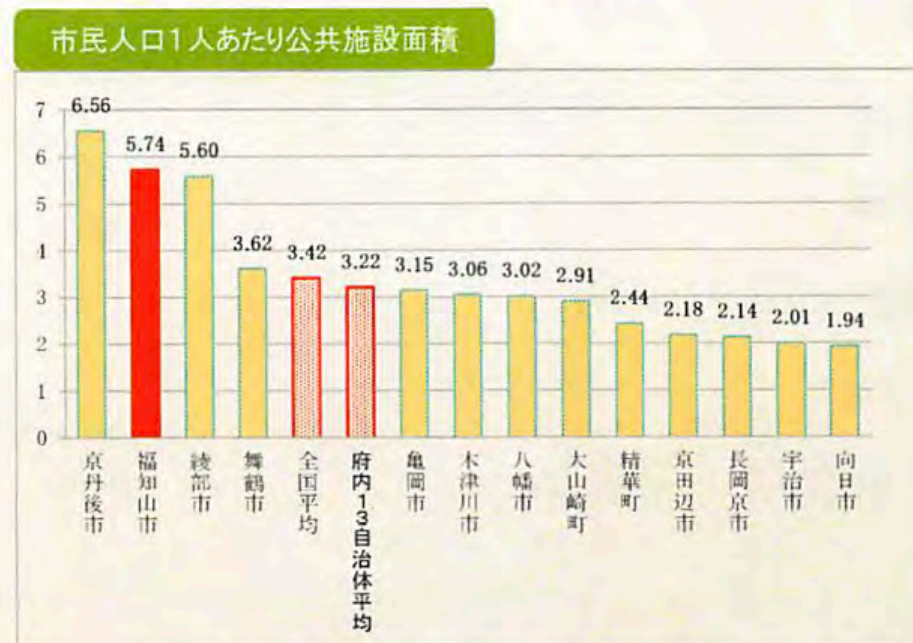
4. 事例紹介

福知山市

4. 事例紹介

公共施設マネジメント 本市の現状

建物の老朽化と維持管理コストの増加



出所: 全国平均は東洋大学PPP研究センター「全国自治体公共施設延床面積データ分析結果報告」(H22.3時点データ)

4. 事例紹介

廃校活用の進捗状況



平成24年度～平成30年度の廃校一覧

	学校名	進捗
1	旧 明正小学校	SD済(ツアー)
2	旧 育英小学校	行政目的調整中
3	旧 精華小学校	グラウンド活用中
4	旧 三岳小学校	行政目的
5	旧 川合小学校	SD済
6	旧 上六人部小学校	SD済(ツアー)
7	旧 中六人部小学校	活用中
8	旧 菟原小学校	SD済(ツアー)
9	旧 細見小学校	SD済(ツアー)

令和元年度の廃校一覧

	学校名	進捗
1	旧 佐賀小学校	SD済
2	旧 天津小学校	SD済(ツアー)
3	旧 金谷小学校	SD済(ツアー)
4	旧 公誠小学校	SD済

令和2年度の廃校予定一覧

	学校名	進捗
1	美河小学校	地域と調整中
2	美鈴小学校	地域と調整中
3	有仁小学校	地域と調整中

4. 事例紹介



公益財団法人
京都地域創造基金
PLUS-SOCIAL

HOME

活動実績

プロジェクト検索

助成金情報

お知らせ

組織概要

お問い合わせ

山の廃校に新たな価値創造を「カワイリバースプロジェクト」

プロジェクトTOP

プロジェクト概要

活動状況



環境・地域・文化

ツイート シェア LINEで送る

山の廃校に新たな価値創造を「カワイリバースプロジェクト」

過疎化が進行するこの地域に、廃校となった小学校の施設活用を通して、新たな価値を創り、持続可能な地域・社会を

平成27年3月、142年間の歴史に幕を閉じ廃校となった福知山市立川合小学校の再生を通じて、持続可能な地域を実現します。

川合地域は過疎高齢化が急速に進むとともに小学校の施設利活用も進まず、迫りくる施設の老朽化に対して無策であり、このままでは住民のコミュニティの場であり、心の原点ともいべき場が失われてしまう状態です。今回本事業で、貴重な地域資源でありシンボルであるこの川合小学校を、地域で暮らし続けている人と新たな住民、そして川合地区出身者、大学、企業等が共に力を結集し、新しい視点で活用をしていきます。

達成率

1%

達成金額：100,000円 / 目標金額：10,000,000円

残り

226日1時間0分

旧佐賀小が菓子製造販売の里山ファクトリーに 住民招きプレオープン



京都府福知山市私市の旧佐賀小学校が、足立音衛門(足立史郎社長)の本社機能や菓子製造販売機能を集約した拠点施設「里山ファクトリー」に生まれ変わった。10月のグランドオープンに先駆け、26日にプレオープン。招かれた地元住民らが、地域の新たな活気創出の期待に胸を膨らませた。

同社は、昨年3月末に閉校した佐賀小の土地と建物を市から購入して改修工事に着手。完成した施設は、学校時代の趣を残しつつ、校舎や体育館を店舗、カフェ、工房、事務所などにリニューアルしている。

プレオープンには多くの地元住民らが訪れ、施設見学や菓子の試食などをしてゆったりと過ごした。また、新型コロナウイルス禍で行事が減っているため久しぶりに再会する人もいて、つかの間の住民交流を楽しむ場にもなっていた。

子どもが佐賀小を卒業した70代女性は「閉校した後は寂しかったけど建物が明るくなりました。活気を呼んでくれそうで、これからが楽しみです」と話していた。

田原康暁店長(47)は「佐賀小周辺は自然豊かで、のどか。四季も楽しんでいただきながら、地元をはじめ、たくさんの方に親しまれる場所にしていきたい」と意気込んだ。

グランドオープンは10月1日。午前8時50分からオープニングセレモニーをして、販売は午前9時から、カフェは同10時から開始する。

みんなの晴れ舞台

ラサカ

2021
10

地域のシンボル「小学校」を再活用

スケボー初心者
挑戦を楽しもう

廃校にも夢がある!



ロケ地：THE 610 BASE (旧 中六人部小学校)

京都府内最大1万8000冊の電子図書館が開館 「コロナ禍でも読書しやすく」と福知山市

1/21(金) 18:32 配信 4



RT 両丹日日新聞
Ryoutan Nichinichi Shinbun

いつでもどこからでも読書が楽しめる「ふくちやま電子図書館」が20日、インターネット上で開館した。電子書籍数は約1万8千冊と京都府内最大。福知山市内在住、在勤、在学で、市立図書館の利用券を持っており、図書館のウェブサービス利用に必要なパスワードがあれば、すぐに使うことができる。在勤、在学者は利用券の再発行が必要。



タブレットで電子書籍を読む児童
(机の児童名部分を画像加工しています)

感染症拡大防止が求められる新しい生活様式への対応と、図書館の利便性向上を目的に始めた。総事業費は5千万円余で、電子書籍コンテンツの利用料が多数を占める。府内では宇治市が同様の取り組みをしている。

インターネットに接続できる環境があれば、パソコン、タブレット、スマホから24時間いつでも利用できる専用サイトを開設。小説や児童書、絵本など幅広いジャンルの書籍を置き、検索も簡単にできる。文字サイズの変更や音声読み上げに対応した書籍もある。

貸し出し、予約ともに1人2点までで、貸出期間は14日間。予約が入っていなければ一度だけ延長でき、返却期限が来ると自動で返却扱いとなる。

コンテンツ利用条件の関係で、借りた電子書籍はサイト上で読む仕組みのため、端末にダウンロードすることや、オフラインでは読めない。また、同一書籍の貸し出しは原則として1人までとなっている。

利用に必要なパスワードは、市立図書館のホームページから作成することができ、同ページから電子図書館にもアクセスできる。

また、市立図書館では2月から、オンラインでの音楽配信サービスも始める予定。

(出所)両丹日日新聞(2021)

4. 事例紹介

京丹後市

roots

京丹後市未来チャレンジ交流センター

「ルーツ」を、つくっていく。
高校生と地域の方々が集い、
新たなチャレンジができる居場所。

チャレンジをするとき、
支えになるものはなんだろう。
私たちは「ルーツ」だと考えました。

生まれ育った地域の軌跡。
周りで支えてくれる人たちの存在。
経験したことに価値を見出せること。

個々の「ルーツ」が交わり、
あたらしい「ルーツ」が生まれていく場所に。

声援を送る、支援の手を差し伸べるという意味も
「ルーツ」には、あるんです。

ありのままの「私」でいられる居場所。
やってみたいを言葉にして、一歩踏み出す機会を
ここから、はじめていきます。





(出所) 稲本朱珠「第2回 高大連携研究会」講演資料(2022)



(出所) 稲本朱珠「第2回 高大連携研究会」講演資料(2022)



(出所) 稲本朱珠「第2回 高大連携研究会」講演資料(2022)



スマートフォンを使いウーバーで配車し マイカーを使った ライドシェア型公共交通

= **ささえ合い交通** の実践

(道路運送法に基づく公共交通空白地有償運送)

2020年11月7日報告 専務理事 東 恒好

【運行主体】 NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」

【NPOホームページ】 <http://kibaru-furusato-tango.org/>

【NPOメールアドレス】 info@kibaru-furusato-tango.org

【facebook】 ささえ合い交通 で検索 & Tsuneyoshi Azuma で検索

さ
さ
え
合
い
交
通



◆ ささえ合い交通の運行概要



- 根拠法律：道路運送法第78条第2号に基づく公共交通空白地有償運送
＝地元の住民ドライバーがマイカーを使って運行
※国土交通省へ登録（許可を受けるのではない）
- 配車方法：スマートフォンで **Uber(ウーバー)** のアプリを使って即時配車（アプリでの事前予約は不可）
 - ・ 2016年5月26日運行開始当初は スマートフォン所有者のみ
 - ・ 2016年9月18日から **代理配車制度** を開始（スマホを持つ人が、利用者に代わり配車）
- 運行主体：NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」（株式会社は不可）
- 運行区域：**乗車**は丹後町のみ（町外からは乗車不可）
降車は京丹後市全域（市外は不可）
- 料 金：最初の1.5kmまで480円、以遠は120円/kmを加算
（概ねタクシー料金の半額）（1台当り）
- 支払方法：当初は**クレジットカード決済のみ**であったが、
 - ・ 2016年12月21日から **現金支払いも可能**
- 運行時間：午前8時～午後8時（365日、運休日なし）
- 利用者：丹後町民 & 観光客（国内、国外）



7

ドライバーの現状(2020年10月現在)

〔資格〕 一種(普通)免許保有者は「**国土交通大臣認定講習**」の受講修了者
二種免許保有者はそれでOK

〔年齢〕 平均年齢64歳〔44歳～70歳〕
(年齢制限を設定:75歳)

〔人数〕 18名(男性14名、女性4名)〈**国へ登録**〉
…そのうち14名がNPO会員以外

〔車両〕 ドライバーが所有する自家用車
(10人乗りもあり、軽自動車も可)

〔保険〕 NPOがかけている団体保険が、ドライバーの個人保険に優先して補償
(対人・対物「無制限」の事故補償、乗車前後の傷害も補償)

〔実務〕 **ドライバーの自由な(空いた)時間**で対応する形態
＝スマホのシステムを【**オンライン**】【**オフライン**】の切り替えで対応



4. 事例紹介

綾部市

4. 事例紹介

【コミュニティナースとは(1)】

・看護師資格を持つ矢田明子氏が2011年に島根県雲南市が主催する次世代育成事業「幸雲南塾」において、「地域に飛び出す医療人材によるコミュニティづくり」を提案し、その後コミュニティナースとしての活動を始めたのがきっかけとされる。

※資格は持っているが、看護師の仕事をしていない潜在ナース数:71万人

・「看護の専門性を生かしながら、制度にとらわれることなく、街に出て自由に多様なケアを実践する医療人材」と定義(矢田、2017)されているが、確定したものはない。

4. 事例紹介

【コミュニティナースとは(2)】

- ・「**看護の専門性**を生かしながら、制度にとらわれることなく、**街に出て自由に多様なケアを実践**する医療人材」(矢田、2017)
- ・「**地域住民との関わり**の中で、**看護師としての知識や技術**を生かし、**健康づくりや地域のコミュニティづくり**などに**貢献**していく医療人材」(服部、2018)



①看護師としての「**専門性**」、②病院・施設ではなく「**地域**」そのものが活動領域、③地域の**身体と心**の健康の増進、**地域のお互い様の**関係の増進****⁷³

4. 事例紹介

主なコミュニティナースの活動



5. おわりに

【今後豊岡で期待したいこと(1)】

○四方よし(SDGs)の視点

①住民よし

②役場よし

③地域よし

④未来よし



5. おわりに

【今後豊岡で期待したいこと(2)】

自(おのず)ら治まる自治



自(みずか)ら治める自治

(自分ごと化・わがこと化)

5. おわりに

【今後豊岡で期待したいこと(3)】

○改革のDNA(from福岡市)

- ・D: できるから始めよう
- ・N: 納得できる仕事をしよう
- ・A: 遊び心を忘れずに

連絡先

杉岡 秀紀

福知山公立大学 地域経営学部 准教授
大阪市立大学大学院都市経営研究科非常勤講師

[mail:sugioka-hidenori@fukuchiyama.ac.jp](mailto:sugioka-hidenori@fukuchiyama.ac.jp)